

Safety Precautions

UV INKJET PRINTER

**JFX550-2513
JFX600-2513**

安全上の注意

本書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

株式会社ミマキエンジニアリング

<https://japan.mimaki.com/>

D203596-13
Original instructions

目次

はじめに	3
安全にお使いいただくために	4
シンボルマーク表示について	4
使用上の警告と注意	5
使用上の制限について	11
してはいけない危険な行為	12
インクやその他本機で使用されている液体を取り扱うときの注意	
事項	15
インク消費有効期限に対する本機の制限について	16
設置上のご注意	17
設置スペース	18
アジャスター/フットについて	19
本機を移設したいとき	19
警告ラベル	20
同意確認書	24

はじめに

この度はUVインクジェットプリンター JFX550-2513, JFX600-2513をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、安全上のご注意（以後、本書と称します）をよくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。

本書で使用しているイラストは、機能や手順、操作の説明を目的としており、本機と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

© 2021 株式会社ミマキエンジニアリング

● 免責事項

- JFX550-2513, JFX600-2513（以後、本機と称します）の故障有無に関わらず、本機をお使いいただいしたことによって生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機により作成された製作物に対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社推奨品以外の装置などを使用すると、火災、または本機の破損事故のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社純正インク、メンテナンス液をご使用ください。それ以外を使用すると、プリント品質の低下、本機の故障のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インクボトルのインクを詰め替えないでください。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社純正不凍液をご使用ください。それ以外の不凍液を使用すると、冷却装置が故障するおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- UV-LEDユニット、UV電源装置は、弊社純正品以外は絶対に使用しないでください。弊社純正品以外を使用すると、本機の故障、感電、火災のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。

● テレビ、ラジオの受信障害について



- 本機稼働中は、高周波が発生しています。不適切な条件下で使用した場合、テレビやラジオの受信障害を発生するおそれがあります。特殊なテレビやラジオに対して、保証しておりません。

テレビやラジオの受信障害が発生したら、本機の電源を切ってから、テレビやラジオの受信状態をご確認ください。電源を切って受信障害が解消すれば、本機が原因と考えられます。

次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせて試してください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変えて、受信障害の発生しない位置を探してください。
- テレビやラジオは、本機から離れた場所に設置してください。

安全にお使いいただくために

シンボルマーク表示について

本書では、シンボルマーク表示により操作上の注意内容を説明しています。各マークの持つ意味を十分理解して、本機を安全に正しくお使いください。

内 容		
 警告	警告	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、または重傷のおそれがある内容を示しています。
 注意	注意	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷、または中程度の負傷のおそれがある内容を示しています。
 注記	注記	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。
	一般警告	注意しなければならない事項を示しています。具体的な警告内容は、マークの中に描かれています。
	一般強制指示	実行しなければならない事項を示しています。具体的な強制指示内容は、マークの中に描かれています。
	一般禁止	してはいけない事項を示しています。具体的な禁止内容は、マークの中に描かれています。
	重要	本機をお使いいただく上で、知っておいていただきたい事項を示しています。
	ヒント	知っておくと便利な事項を示しています。
	参照情報	関連する内容の参照ページを示しています。

使用上の警告と注意

● 異常事態が発生したら

⚠ 警告



- 万一、煙が出ていたり、変な臭いがしたりするなどの異常事態が発生したら、直ちに主電源を切ってブレーカーを落としてください。そのまま使用すると、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。煙が出なくなるのを確認してから、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。

⚠ 注意



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が皮膚に付着してしまったときは、直ちに布などでふき取ってください。その後石鹼を使用して、大量の水で洗い流してください。インクが付着したまま放置すると、皮膚が炎症をおこす原因になります。皮膚に刺激や痛みを感じたときは、速やかに医師の診断を受けてください。
- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が目に入ってしまったときは、直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗い流してください。コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は、清浄な流水で15分以上洗い流したあとに外してください。また、まぶたの裏まで完全に洗ってください。インクが付着したまま放置すると、失明や視力が低下する原因になります。目に刺激や痛みを感じたときは、速やかに医師の診断を受けてください。
- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が口に入ってしまったたり、飲み込んでしまったりしたときは、無理に吐かせないで直ちにうがいをして、速やかに医師の診断を受けてください。無理に吐かせると、吐いたものが気管に入ってしまうおそれがあります。
- 蒸気を大量に吸い込んでしまったときは、新鮮な空気の場所に移動して、暖かくして呼吸しやすい姿勢で安静にしてください。症状が改善しない場合は、速やかに医師の診断を受けてください。
- すぐに医師の診断を受けられない場合は、（財）日本中毒情報センター 中毒110 番に相談してください。
(大阪) 072-727-2499 24時間対応
(つくば) 029-852-9999 9~21時対応

注記



- インクが漏れてしまったときは、すぐに3つの主電源スイッチを切ってください。その後、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

● 電源に関するご注意

JFX600-2513 の1~20号機までは、ソケットを使って電源接続します。JFX600-2513 21号機以降およびJFX550-2513は、配電盤から直接端子台に接続されます。電源工事については、電源接続工事についてをご確認ください。

⚠ 警告



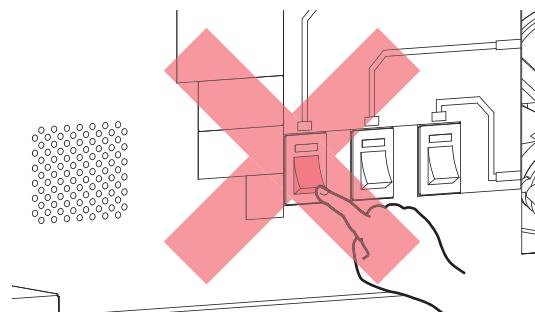
- 電源ケーブルを傷つけたり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりしないでください。電源ケーブルが破損して、感電や火災につながるおそれがあります。
- 電源ケーブルの破損や芯線の露出、断線などが見られる場合は使用しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 本機は漏洩電流が大きく、感電の危険があります。([PROTECTIVE CONDUCTOR CURRENT]=20.83mA)
感電を防止するため、L,N極に接続する前に、必ずG極に接続してください。



- 本機は、必ず接地（アース）極性付きの配電盤に接続してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。必ず電気工事士の免許を持った人が電気工事（C種接地工事（特別第3種接地工事））をしてください。



- 通常時は、本機の主電源や制御PCの電源を切らないでください。電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
異常を感じた等の理由で止むを得ず本機の電源を切る際は、必ず3つのスイッチ全てを切り供給電源遮断を行ってください。
3つのスイッチすべてを切っていない場合、感電の危険があります。



- 本機は指定された電源仕様で使用してください。
- 電源ケーブルを接続する際には、電源コンセントの入力電圧、ブレーカーの容量を確認してください。また、それぞれのケーブルはブレーカーが独立している別の電源に接続してください。同じブレーカーにつながっているコンセントに接続すると、ブレーカーが遮断する原因になります。

● バキュームユニットについて

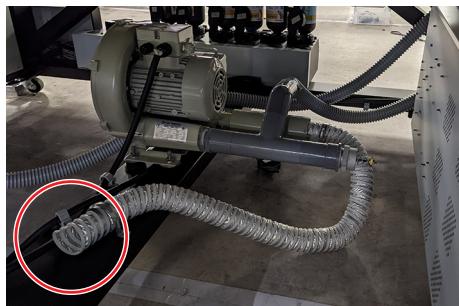
注記



- バキュームユニットを分解したり、改造したりしないでください。吸着力が低下したり、本機が発熱して故障の原因になります。



- リリーフ（圧力調整）弁に触れたり、バキュームユニットの排気口をふさがないでください。
吸着力が低下したり、本機が発熱して故障の原因になります。



- 低温の環境下で使用すると、バキュームユニットから甲高い音が発生することがあります。甲高い音が発生しても、故障ではありません。

● 本機に乗らないでください

注記



- テーブルの上には絶対に乗らないでください。テーブル盤面の精度が狂って、プリント品質に影響がでるおそれがあります。

● 可動部に注意してください

⚠ 注意



- 顔や手など体の一部を可動部に近づけないでください。また作業の妨げになるような服装（ダブついた服装、装飾品など）で、本機に近づかないでください。ケガをするおそれがあります。



- 長い髪の毛は束ねてください。ケガをするおそれがあります。

● 分解、改造はしないでください

⚠ 警告



- 本機を分解したり、改造したりしないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

● 紫外線（UV） 、 UV-LEDユニットについて

⚠ 警告



- UV-LEDユニットの下に可燃物を置いたり、紙や布でUV-LEDユニットを覆ったりしないでください。発火や発煙のおそれがあります。
- UV-LEDユニットから、微量の紫外線が漏れてしまうことがあります。目や皮膚に紫外線を浴びないように、UV遮光メガネや遮光用フェイスシールド、マスク、手袋、長袖の服を着用してください。
 - 皮膚に紫外線を浴びると、炎症を起こすことがあります。炎症を起こさない場合でも、長期間、または反復暴露によって慢性障害に発展するおそれがあります。
 - 急性障害：炎症など
 - 慢性障害：皮膚がん、シワ、シミなど
 - 点灯中のライトを肉眼で見た場合、目の痛みや視力障害を起こすことがあります。目の痛みを起こさない場合でも、長期、または反復暴露によって慢性障害に発展するおそれがあります。
 - 急性障害：紫外線角膜炎、結膜炎、異物感、とう痛、涙が流れるなど
 - 慢性障害：翼状片、白内障など



- 必ず付属のUV遮光メガネを着用してください。目が痛くなったり、視力障害を起こしたりするおそれがあります。



- 必ず手袋や長袖の服を着用してください。紫外線（UV）による皮膚の炎症や、皮膚障害を起こすおそれがあります。

⚠ 注意



- UV-LEDユニットは非常に高温になります。LEDが消灯して十分温度が下がるまで、手を触れないように注意してください。
- UV-LEDユニットの光を皮膚や目に直接、または間接的にあてないでください。UV-LEDユニットは、紫外線（UV）を発生させています。光を皮膚や目に紫外線を浴びると、炎症を起こすおそれがあります。

注記



- UV-LEDユニットに無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。変形や故障の原因になります。
- UV-LEDユニットの下面についているガラスは、素手で触れないでください。UVインクの硬化が低下する原因になります。汚れが付着したときは、エタノールを含ませた清潔な柔らかい布で拭いてください。その際、カバーや他の部品にエタノールを付着させないように注意してください。変形や故障の原因になります。

● モニターアームについて

⚠ 注意



- モニターアームの耐荷重は8kgです。指定のモニター以外は取り付けないでください。アームが破損するおそれがあります。
- タッチパネルを搭載したモニターアームが、本機正面側に張り出しています。作業中、モニターアームやタッチパネルにぶつかってケガをしないよう注意してください。

注記



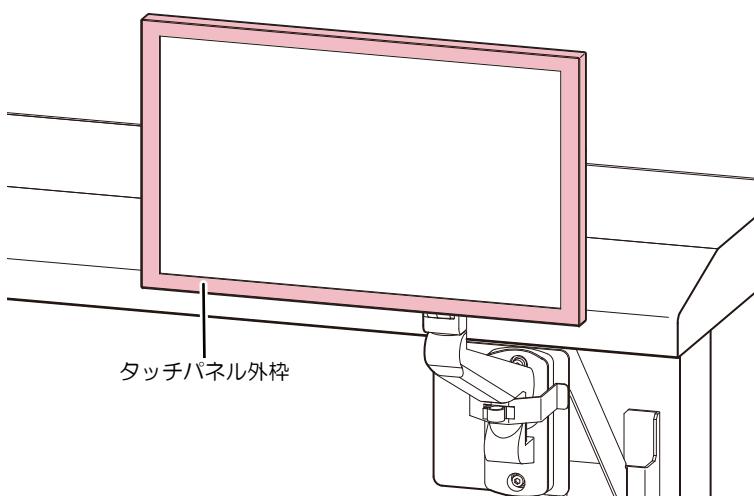
- モニターアームの角度を変えることにより、タッチパネルの搭載角度や向きを変更できます。キャリッジ可動域やプリントに支障のない範囲で、アームの角度を変更してお使いください。

● タッチパネルについて

注記



- タッチパネルを強く押したり、擦ったり、突いたりしないでください。
- ボールペンや金属類などの堅いものでタッチパネルをタップしないでください。
- 画面の黒い外枠に触れないでください。
- タッチパネルの画面や黒い外枠に、テープやふせん等を貼り付けないでください。感度が低下したり、操作できなくなるおそれがあります。



- タッチパネルに液体が付着した場合は、直ちに拭き取ってください。
- タッチパネル隙間に液体が入らないように注意してください。

● その他、使用上の警告と注意

⚠ 警告



- ・本機に子供を近づけないでください。

注記

● 本機の廃棄について

⚠ 注意



- ・販売店、またはサービス実施店にご相談ください。
- ・お客様自身で廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

使用上の制限について

⚠ 警告



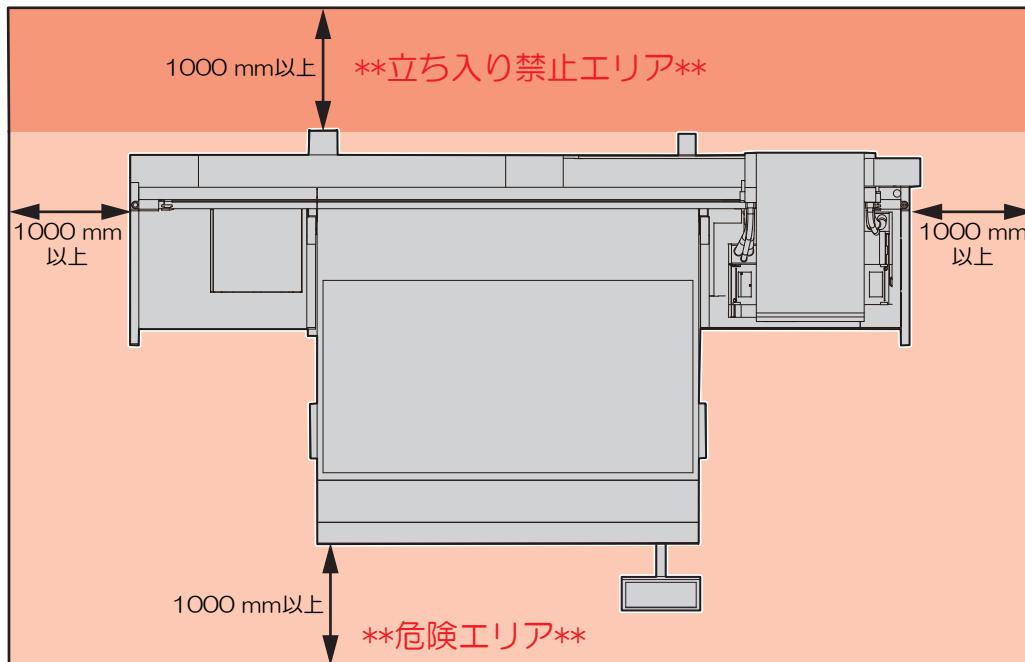
- 本機はキャリッジが左右に高速移動したり、Yバーが動いたり、高温部や危険な電圧部、またUV-LEDを搭載していて非常に危険です。本機の使用は、それらの危険性を十分理解した方に限られます。



- 専用の個室、もしくは安全柵にて囲みを設けるなど、物理的な方法で本機を隔離してください。危険なエリアであることを認識させる必要があります。
 - 専用の個室を設ける場合は、出入り口のドアに鍵やインターロックを設置してください。
 - 安全柵にて隔離エリアを設ける場合は、EN ISO13857規格に準じたものを使用してください。



- 弊社が実施するリスクアセスメント教育の受講者、もしくはその受講者から教育を受けた方以外は、隔離エリアへの立ち入りを禁止してください。



- 弊社が実施するリスクアセスメント教育の受講者、もしくはその受講者から教育を受けた方以外は、本機を絶対に触らないでください。ケガをするおそれがあります。

してはいけない危険な行為

電源が入っているときは、以下に挙げた危険な行為は絶対にしないでください。定期メンテナンスなどでキャリッジが動いたときに、大きなケガ（粉碎やせん断）につながるおそれがあります。

● Yバーの背面に立ち入らない



- 電源が入っているときは、Yバーの背面に立ち入らないでください。Yバーが動き出して思わぬ事故につながることがあります。

● キャリッジ周辺に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたりしない



- キャリッジとYバーの隙間に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたりしないでください。



- キャリッジとテーブルまたはステーションの隙間に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたりしないでください。



● Yバーとテーブルの隙間に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたりしない



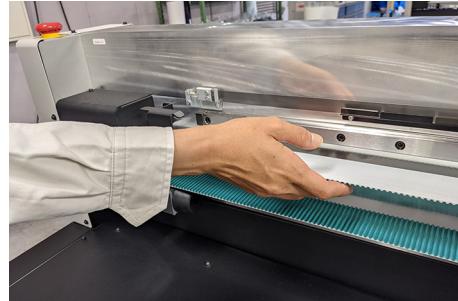
- Yバーとテーブルの隙間に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたりしないでください。



● 可動部に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたりしない



- ・ Yバーのベルトに顔や手など体の一部を近づけたり、入れたりしないでください。



● ベア部に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたり、物を置かない



- ・ Yバー や テーブル下のベア部に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたり、物を置かないでください。



● テーブルの下に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたりしない



- ・ テーブルの下に潜り込んだり、顔や手など体の一部を入れたりしないでください。

● テーブルに手や物を置かない



- ・ テーブルに顔や手など体の一部、またはメディア以外の物を置かないでください。



● UV-LEDを直視しない



- ・ UV-LEDを直視しないでください。椅子などに座って作業しているときは、キャリッジと頭の位置が同じ高さになっているので特に注意してください。



● キャリッジの動作を妨げない



- キャリッジが動作中（プリントやクリーニングなど）は、無理矢理キャリッジを動かさないでください。
-

インクやその他本機で使用されている液体を取り扱うときの注意事項

インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体の容器に、液体に関する注意書きが添付されています。よくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。



- 取り扱い前に必ず安全データシート（SDS）をご覧ください。<https://japan.mimaki.com/supply/sds/>

⚠ 注意



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



- 不凍液は、弊社専用の不凍液をご使用ください。それ以外の不凍液を使用されると、冷却ユニットが故障するおそれがあります。
- 静電気・衝撃火花による着火源が生じないように注意してください。
- 不要となった不凍液は以下の方法で処分してください。
 - おがくず、ウェスなどに吸着させて、焼却炉で焼却する。
 - 免許を持った産業廃棄物処理業者に内容物を明確にして処理を委託する。



- インクが入っているケースに強い衝撃を与える、激しく振り回したりしないでください。またインクを詰め替えないでください。インクが漏れて皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



- インクが入っているケースを分解しないでください。インクが漏れて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体、インクなどが付着した容器や不織布などを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

注記



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を直射日光が当たる場所に保管しないでください。
- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を金属切削液や揮発性の高い物質（アミン類、アミン変性アルコール類など）が充満している場所に保管しないでください。そのような場所に保管すると、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体は、他のプリンターで使用しないでください。故障の原因になります。



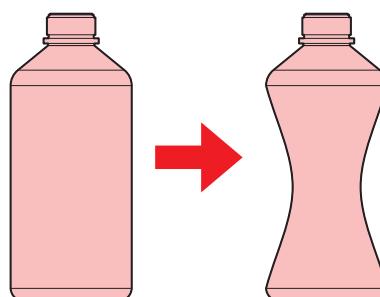
- 床から1m以内の低い場所に保管してください。落下したときに液体が飛散するおそれがあります。
- 密閉した状態で保管してください。
- 冷暗所で保管してください。
 - インクが凍結しない環境での保管をしてください。解凍したインクを使用すると、インクの成分が変質してプリント品質が低下するおそれがあります。
 - 寒い所から暖かい所に移したインクは、本機と同じ環境に3時間以上放置してから利用してください。
 - インクは使用直前に開封して、早めに使い切ってください。開封してから長時間経過したものは、プリント品質が低下するおそれがあります。



- インクICチップの金属部分には触れないでください。静電気でインクICチップが破損したり、汚れや傷などによってインクICチップが読み取りエラーになる原因になります。



- 種類の違うインクICチップでは、プリントすることができません。
- 本機にセットしているインクボトルがへこんでしまっても、使用上問題ありません。



インク消費有効期限に対する本機の制限について

例) 消費有効期限の記載が、20xx年4月の場合

- 同年5月：新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
- 同年6月：新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
- 同年7月：プリントすることができません。



- インクの容器にインクの消費有効期限が記載されています。インクの消費有効期限を超えると、インクの吐出不良が生じたり、色みに変化を生じたりするおそれがあります。消費有効期限を超えてプリントすることはできますが、新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ることをお勧めします。

設置上のご注意

⚠ 警告



- 火気のある場所に本機を設置しないでください。
- 本機の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、化学薬品、水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。本機内部に浸入すると、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- 湿気の多い場所や水のかかる場所に本機を設置しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- 本機を子供が立ち入るおそれのある場所に設置しないでください。

⚠ 注意



- 換気の悪い部屋、もしくは密閉された部屋に本機を設置する場合は、必ず換気装置を設けてください。
- 排気口施工については、必ず以下の内容をお守りください。
 - 排気口の設置は、各國の地域のEHS（Environmental, Health and Safety）ガイドラインにしたがってください。
 - 排気口に閉鎖弁などを設置した場合、本機使用中は必ず閉鎖弁を開けてください。

注記



- ホコリや粉じんのある場所に本機を設置しないでください。本機の内部に浸入すると、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- エアコンなどの風があたる場所に本機を設置しないでください。本機の内部にホコリや粉じんなどが浸入するおそれがあります。
- 不安定な場所や振動が発生する場所に本機を設置しないでください。故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- 直射日光が当たる場所に本機を設置しないでください。
- 温度変化が激しい場所に本機を設置しないでください。故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- ノイズを発生する大型の機械が置いてある場所に本機を設置しないでください。
- 写真定着材の蒸気や酸性（酢酸、塩酸など）の気体が発生していたり、金属切削液や揮発性の高い物質（アミン類、アミン変性アルコール類など）が充満してたりする場所に本機を設置しないでください。そのような環境下に設置すると、プリントヘッド表面のインクが固まり、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



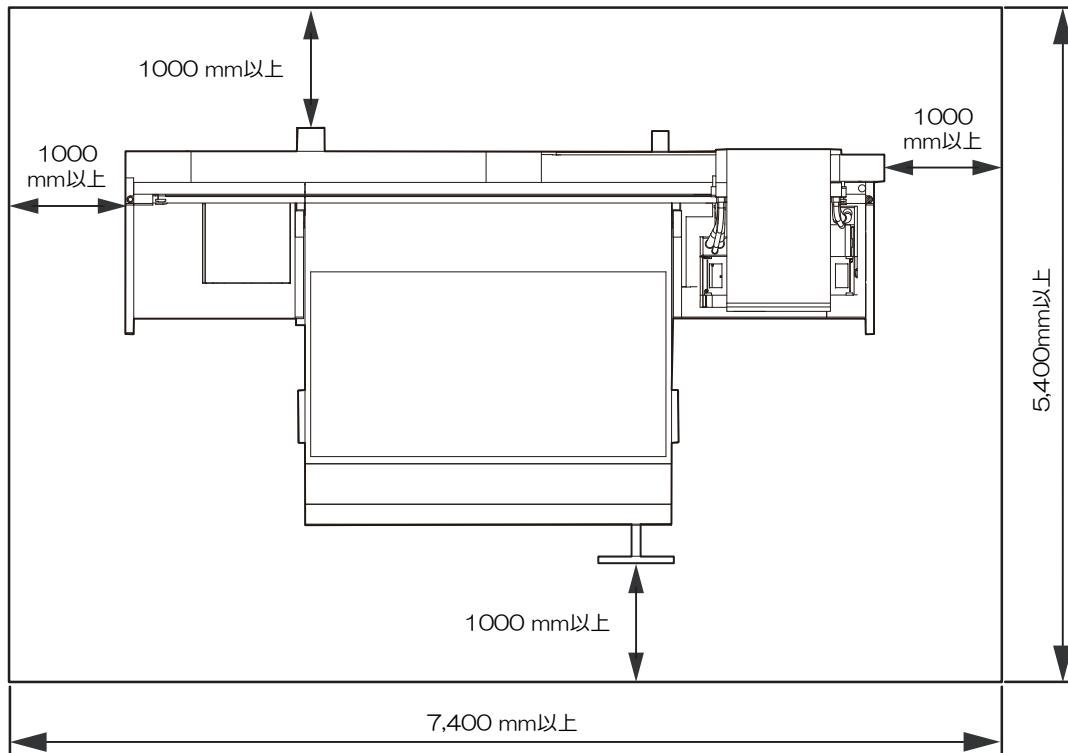
- 動作可能環境：20~30 °C (68~86 °F)、35~65% Rh (結露なきこと)
- 精度保証温度：20~25 °C (68~77 °F)

設置スペース

メディアやインクの交換を安全に正しく行うためには、以下のスペースが必要です。

項目	JFX600-2513
幅 ^{*1}	7,400 mm以上 (5,400 mm以下)
奥行き ^{*1}	5,400 mm以上 (3,400 mm以下)
高さ ^{*1}	(1,700 mm以下)
重量	(1,200 kg以下)

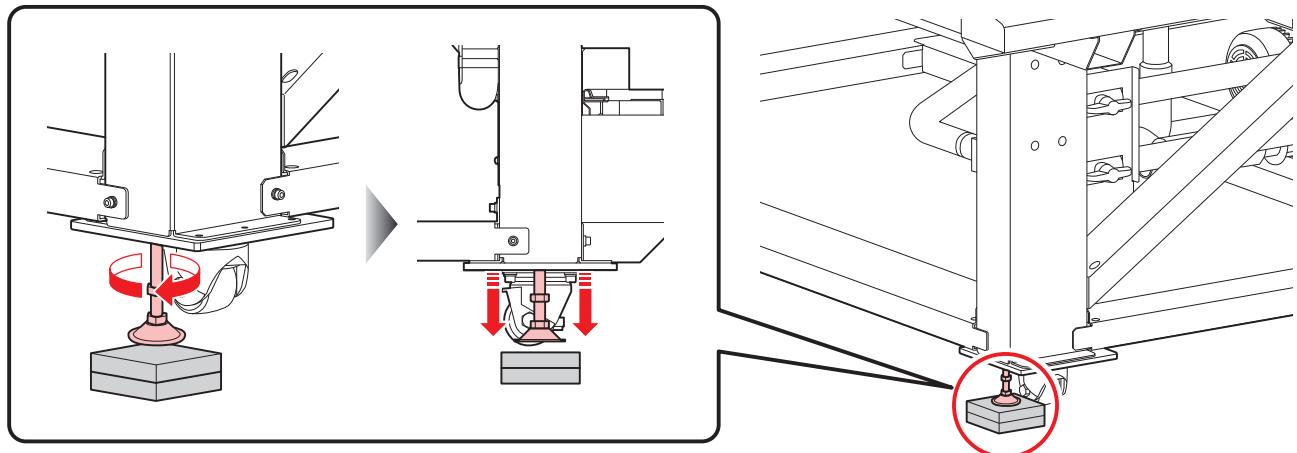
*1. () 内は、タッチパネルを含む本機のサイズです。



- 専用の個室、もしくは安全柵にて囲みを設けるなど、物理的な方法で本機を隔離してください。危険なエリアであることを認識させる必要があります。
 - 専用の個室を設ける場合は、出入り口のドアに鍵やインターロックを設置してください。
 - 安全柵にて隔離エリアを設ける場合は、EN ISO13857規格に準じたものを使用してください。

アジャスター・フットについて

本機の電源を入れる前にアジャスター・フットが緩んでいないかどうかを確認してください。アジャスター・フットが緩んでいると、プリント中に本機が動いてしまってケガをするおそれがあります。



- 台座板（樹脂製、色：グレー）を外さないでください。台座板は本機の重量を分散させる役割があります。

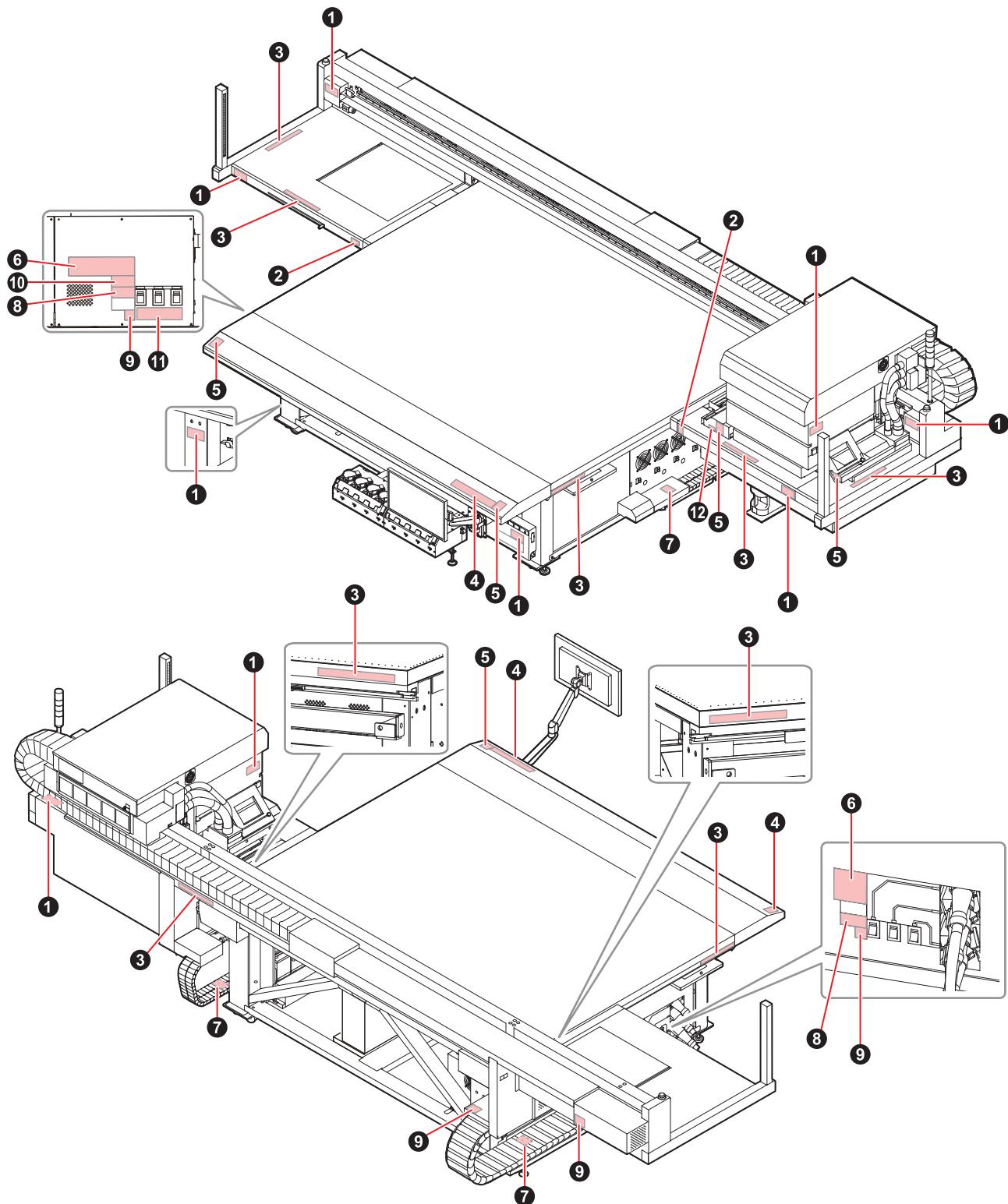
本機を移設したいとき

販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。お客様が本機を移設すると、故障や破損のおそれがあります。

警告ラベル

警告ラベルの内容を十分理解してください。

警告ラベルが汚れて読めなくなったり、剥がれたりした場合は、販売店、またはお近くの弊社営業所で、新しい警告ラベルをお買い求めください。



N. o.	注文番号	ラベル	内容
1	M909381		危険な可動部があります。Yバーやキャリッジが動作した時に、大きなけが（粉碎やせん断）につながるおそれがありますので、指や体を近づけないでください。
2	M903330		インクなどの液体が跳ねて皮膚に付着したり、目の中に入ったりするおそれがあります。作業をする時は保護メガネや手袋を着用してください。
3	M906115		危険な可動部があります。Yバーやキャリッジが動作した時に、大きなけが（粉碎やせん断）につながるおそれがありますので、指や体を近づけないでください。
4	M902663		ヘッドの移動中やリモートモードの時は、動作するYバーに当たり、けがをするおそれがあります。手や顔を近づけないでください。
5	M905980		本機は紫外線を発生させています。紫外線を浴びると、失明や火傷を起こすおそれがありますので、UV光に注意してください。
6	M917293		-

No.	注文番号	ラベル	内容				
7	M909385		上に乗ると板金が変形し、転倒するおそれがあります。また、変形した板金が接触してけがをするおそれがありますので、上に乗らないでください。				
8	M903281	<p>See SET UP GUIDE before connecting to the supply. 電源を接続する前に、必ずセットアップガイドを読んでください。 See SET UP GUIDE before connecting to the supply. 電源を接続する前に、必ずセットアップガイドを読むこと。 在接通电源之前请一定阅读安装说明书。</p>	電源を接続する前に、必ずセットアップガイドを読んでください。誤った接続をすると、本機の故障や感電、または火災につながるおそれがあります。				
9	M907935		内部に高電圧があります。高電圧部に触ると、感電する危険がありますので注意してください。				
10	M905624	<table border="1"><tr><td>△ 警告 漏えい電流大 電源へ接続する前に 接地接続が必要</td><td>△ WARNING HIGH LEAKAGE CURRENT EARTH CONNECTION ESSENTIAL BEFORE CONNECTING SUPPLY</td></tr><tr><td>△ AVERTISSEMENT COURANT DE FUITE ELEVE CONNECTER LA MISE A LA TERRE AVANT DE CONNECTER L'ALIMENTATION</td><td>△ WARNING HOHER KRIECHSTROM BITTE ERDKABEL ANSCHLIESSEN BEVOR SIE STROMZUFUHR ANSCHLIESSEN</td></tr></table>	△ 警告 漏えい電流大 電源へ接続する前に 接地接続が必要	△ WARNING HIGH LEAKAGE CURRENT EARTH CONNECTION ESSENTIAL BEFORE CONNECTING SUPPLY	△ AVERTISSEMENT COURANT DE FUITE ELEVE CONNECTER LA MISE A LA TERRE AVANT DE CONNECTER L'ALIMENTATION	△ WARNING HOHER KRIECHSTROM BITTE ERDKABEL ANSCHLIESSEN BEVOR SIE STROMZUFUHR ANSCHLIESSEN	本機は漏えい電流が大きく、感電の危険があります。電源へ接続する前に必ず接地接続を行ってください。([PROTECTIVE CONDUCTOR CURRENT]=20.83 mAとなります。)
△ 警告 漏えい電流大 電源へ接続する前に 接地接続が必要	△ WARNING HIGH LEAKAGE CURRENT EARTH CONNECTION ESSENTIAL BEFORE CONNECTING SUPPLY						
△ AVERTISSEMENT COURANT DE FUITE ELEVE CONNECTER LA MISE A LA TERRE AVANT DE CONNECTER L'ALIMENTATION	△ WARNING HOHER KRIECHSTROM BITTE ERDKABEL ANSCHLIESSEN BEVOR SIE STROMZUFUHR ANSCHLIESSEN						
11	M917898	<table border="1"><tr><td>△ CAUTION There are more than one disconnections. Make sure that all switches are disconnected before access. There will be an electric shock if any of the switches are not disconnected</td></tr><tr><td>△ ATTENTION Il y a plus d'une deconnection. S'assurer que tous les commutateurs sont deconnectes avant d'accéder. Il y a risque de choc électrique si l'un des commutateurs n'est pas déconnecté.</td></tr><tr><td>△ 警告 本装置には複数の入力電源があります。 電源BOXを開ける場合は、必ず全てのスイッチを切り、 電源遮断装置（ブレーカ等）で全ての供給電源遮断を行うこと。 感電や火災につながるおそれがあります。</td></tr></table>	△ CAUTION There are more than one disconnections. Make sure that all switches are disconnected before access. There will be an electric shock if any of the switches are not disconnected	△ ATTENTION Il y a plus d'une deconnection. S'assurer que tous les commutateurs sont deconnectes avant d'accéder. Il y a risque de choc électrique si l'un des commutateurs n'est pas déconnecté.	△ 警告 本装置には複数の入力電源があります。 電源BOXを開ける場合は、必ず全てのスイッチを切り、 電源遮断装置（ブレーカ等）で全ての供給電源遮断を行うこと。 感電や火災につながるおそれがあります。	電源スイッチが複数あります。電源を切る際は、感電の危険がありますので3つのスイッチすべてを切ってください。	
△ CAUTION There are more than one disconnections. Make sure that all switches are disconnected before access. There will be an electric shock if any of the switches are not disconnected							
△ ATTENTION Il y a plus d'une deconnection. S'assurer que tous les commutateurs sont deconnectes avant d'accéder. Il y a risque de choc électrique si l'un des commutateurs n'est pas déconnecté.							
△ 警告 本装置には複数の入力電源があります。 電源BOXを開ける場合は、必ず全てのスイッチを切り、 電源遮断装置（ブレーカ等）で全ての供給電源遮断を行うこと。 感電や火災につながるおそれがあります。							
12	M917420	<table border="1"><tr><td>RISK GROUP 3</td></tr><tr><td>• WARNING UV emitted from this product. • Avoid eye and skin exposure to unshielded product.</td></tr><tr><td>GROUPE DE RISQUE 3</td></tr><tr><td>• AVERTISSEMENT : UV émis par ce produit. • Eviter l'exposition des yeux et de la peau à un produit non blindé.</td></tr></table>	RISK GROUP 3	• WARNING UV emitted from this product. • Avoid eye and skin exposure to unshielded product.	GROUPE DE RISQUE 3	• AVERTISSEMENT : UV émis par ce produit. • Eviter l'exposition des yeux et de la peau à un produit non blindé.	本機は紫外線を発生させています。（リスクグループ3）皮膚や目に紫外線を浴びると、炎症を起こすおそれがありますので、UV光に当たらないように注意してください。
RISK GROUP 3							
• WARNING UV emitted from this product. • Avoid eye and skin exposure to unshielded product.							
GROUPE DE RISQUE 3							
• AVERTISSEMENT : UV émis par ce produit. • Eviter l'exposition des yeux et de la peau à un produit non blindé.							



- ・本機は指定された電源仕様で使用してください。
- ・電源ケーブルは、必ず本機の近くにある電源コンセントに接続してください。また、電源プラグの刃を根元まで確実に挿し込んでください。
- ・電源ケーブルを接続する際には、電源コンセントの入力電圧、ブレーカーの容量を確認してください。また、それぞのケーブルはブレーカーが独立している別の電源に接続してください。同じブレーカーにつながっているコンセントに接続すると、ブレーカーが遮断する原因になります。



- ・本機は、必ず接地（アース）極性付きの配電盤に接続してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。必ず電気工事の免許を持った人が電気工事（C種接地工事（特別第3種接地工事））をしてください。

同意確認書

お客様控え

同意確認書

私は、ミマキエンジニアリングのサービスもしくは販売会社から、本装置のマニュアル「安全上のご注意」に従い、適切な安全訓練を受講したことに同意します。また、安全訓練受講者およびその者から安全訓練を受けた者のみが、本装置を使用することに同意します。

本装置： JFX550-2513, JFX600-2513

受講日 _____

安全訓練受講者

氏名 _____

社名 _____

安全訓練実施者

氏名 _____

社名 _____

サイン（受講者）	サイン（実施者）	受講日
-----		-----
キリトリ線		キリトリ線

メーカー控え

同意確認書

私は、ミマキエンジニアリングのサービスもしくは販売会社から、本装置のマニュアル「安全上のご注意」に従い、適切な安全訓練を受講したことに同意します。また、安全訓練受講者およびその者から安全訓練を受けた者のみが、本装置を使用することに同意します。

本装置： JFX550-2513, JFX600-2513

受講日 _____

安全訓練受講者

氏名 _____

社名 _____

安全訓練実施者

氏名 _____

社名 _____

安全上のご注意

2025年11月

発行者 株式会社ミマキエンジニアリング
発行所 株式会社ミマキエンジニアリング
〒389-0512
長野県東御市滋野乙2182-3

